

令和6年度

第1回苦情処理委員会議事録

進行 佐藤 かほる

記録 澤村 有紀

1、日時及び場所 令和6年7月9日(火) 午前10時30分～
ふじなでしこ こども園 応接室

2、園長あいさつ

○令和6年度4月から現在までのこども園の様子について

- ・令和6年度は230名で始まったが、園児数も少しずつ増えていき現在は242名となっている。3歳以上児での入園者が年々減少している近年ではあるが、今年度は5月に2名、6月にも2名の入園者がいた。
- ・6月27日に行われた運動会では子どもたちの姿を見に来てくださりありがとうございます。滝沢総合公園体育館で運動会を行うのは今年で3年目となるが、職員も慣れてきていることもあり準備から進行までスムーズに行えるようになってきている。また、子ども達に関しては4、5歳児クラスは本番前に一度総練習を行ないに行っているが、2、満3、3歳児クラスの子どもたちは運動会当日に初めて会場に行ってプログラムを見せている。子どもたちの適応能力の高さに驚かされた。
- ・夕涼み会が7月12日(金)に行われる。当日5歳児の子どもたちは朝から夜20:00まで園で過ごすことになる。子どもたちが友達と思い出を作りながら楽しく過ごせるよう準備を行っている。
- ・1学期は大きな苦情もなく過ごすことができた。これからも子どもたちはもちろんのこと、保護者の方や地域の方も心地よく過ごしていけるようにしていきたい。

3、施設長あいさつ

○令和6年度4月から現在までの学童クラブの様子について

- ・当園の学童クラブは鶉飼小学校地区の子どもたちが利用している。今年度は大きな人数の変動もなく、昨年と同じくらいの利用人数である。
- ・今年度新しい取り組みとして、おがーるシステムを導入した。児童の下校管理や出欠連絡が携帯電話のアプリを通して行えるようになったため、利用者の利便性が向上している。
- ・今年度から学童クラブ単体でのインスタグラムを始めた。日々の様子や行事の様子を投稿している。また、異年齢交流の投稿なども充実させることでこども園との一体施設の良さ(0歳から12歳まで通える)をアピールすることもできていると感じている。
- ・4～6年生でこども園の1、2歳児クラスとの交流を行った。子どもたちが予想以上に喜んで優しく関わる姿が見られた。今後も定期的に学年毎で交流をしていきたいと考えている。

4、議事

①苦情報告

報告者 佐藤 かほる（ふじなでしここども園主幹保育教諭）

- ・4月～6月は苦情がなくすごすことができた。
- ・今年度から0歳児クラスで離乳食の提供の見直しを行い、2回食からの提供を始めた。保護者からも好評で保護者支援にもつながっていると感じている。また、保育室前にその日のメニューで提供した形状を保護者の方にも見てもらいやすくするために展示も行っている。お迎えの際に展示を見ながら担任と話して情報を共有することができ、食事面での保護者との連携がスムーズに行えるようになった。また、0、1歳児を対象にした未就園児サークルとここでも離乳食試食会を行ったところ好評だった。

報告者 宍倉 有紀（撫子学童クラブ主任支援員）

- ・4月から平均して70名程度の児童が利用している。
- ・4月から6月までは苦情がなかった。
- ・今年度は5～6年生が積極的に1年生に関わる姿が見られている。1年生を見て優しくかわいがる姿がとても微笑ましい。またそのような姿もあり、こども園の未満児クラスとの交流も進めたところ子どもたちからも好評でよい取り組みの一つとなった。
- ・7月26日にレクレーション、8月9日に夏祭りを計画している。

報告者 日山 洋子（滝沢中央学童保育クラブ第一主任支援員）

- ・1年生も学童クラブでの生活に慣れて落ち着いて過ごすことができている。上級生たちも1年生を交えて一緒に遊ぶことができている。
- ・滝沢中央小学校の校庭で遊んで過ごすことも多い。気温が高くなる日が増えてきている為、朝の涼しい時間に戸外遊びを楽しむなどして時間の使い方や、発散の仕方を工夫していくようにしている。
- ・夏休みのレクレーションと夏祭りは室小路学童クラブと合同で行う予定で現在計画中である。

③第三者委員より

佐生 正代 委員

- ・運動会のお遊戯はどの学年もとても素敵だった。また、5歳児のクラス対抗リレーでは子どもと一緒に頑張る担任の姿にとっても感動した。
- ・学童クラブとこども園の異年齢交流はとても良いと思う。
- ・苦情がなかったことが今までで初めての出来事。今後も子ども、家庭、地域と共に心地よく過ごして行ってほしい。

目時 礼子 委員

- ・運動会のクラス対抗リレーでは本当に感動した。最後アンカーの子どもがゴールする時に担任が手を広げて待ち受ける姿にとっても感動した。
- ・離乳食の2回食を始めたことは、大きな保護者支援となり保護者にさらに寄り添う力となっていることがとても素晴らしいと思う。
- ・学童クラブの児童が1、2歳児の子どもを相手に、自分の膝の上に自然に乗せたり、絵本を読み聞かせたりしている姿は日頃の職員の姿をよく見ている行動だと思う。職員が児童のよい手本となれていることが素晴らしいと思う。

③その他

(園長)

異年齢交流については、1、2歳児クラスの子どもたちが夕方に園内散歩で2階を散歩している様子を見て、学童の職員からこども園の職員に企画を依頼して実現した。職員がエプロンを用意したことで、児童もエプロンを付けて「先生」を疑似体験することができ、よい機会となった。コロナウイルスが流行する前までは学童クラブとこども園とで交流もあったが、コロナウイルスの流行に伴ってここ数年は交流する機会が減少していた。これからは交流もさらに重ね、こども園と学童クラブの一体施設としての魅力もアピールしていきたい。

質問：(目時 礼子委員)

現在もお泊り会はしているのか？

回答：(園長)

親元を離れて家庭ではないところに泊まるということが、年々子どもたちの精神面での大きな負担になっていることを感じていた。また、両親ともに就労している家庭が増加している中で、お泊り会当日に一時帰宅のための迎えが難しい家庭があったり、お泊り会明けに就労の為こどもは帰宅せずにそのまま預かり保育をしたりなど、家庭によってはお泊り会が大きな負担となっていることも実状としてあった。コロナウイルスの流行に伴って2年前から夕涼み会にしてみたところお泊り会と同じような内容を朝から夜までの時間をかけて楽しむことができ、活動に取り組む家庭での子どもの成長も感じることもできたため、今年度も夕涼み会としている。

○次回の苦情報告会の日程について

令和7年2月上旬

4、閉会

出席者・第三者委員 佐生 正代 委員・目時 礼子 委員

・ふじなでしこ こども園 責任者 ウッドオール 美枝

受付担当者 佐藤 かほる 澤村 有紀

・撫子学童クラブ 責任者 朽木 慎悟 ・受付担当者 宍倉 有紀

・滝沢中央学童保育クラブ第一 責任者 朽木 慎悟 ・受付担当者 日山 洋子